



7月に入って梅雨があけた途端、次の日からは真夏のような暑さになりました。
雨をたっぷり吸いこんだ山は、急な熱波に包まれて、数日間霞んでいました。この現象は「放射霧」と呼ばれるそうです。
7月11日の空 積乱雲とは違い、高い位置で氷の粒によりできた雲です。強い風によって引き裂かれ、あたかも絵の具を刷毛で伸ばしたかのような巻雲が現れていました。

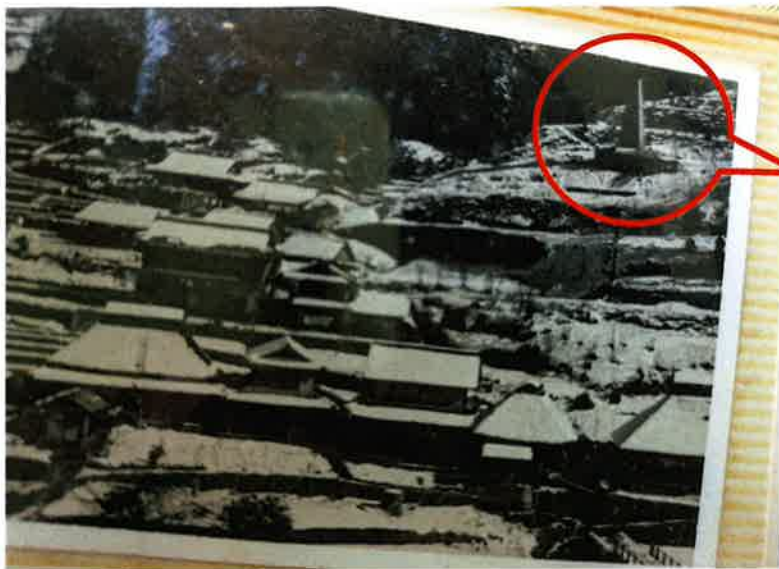
みんなの願いが詰まった七夕飾りを支所玄関に短尺と一緒に設置しました。
こちらは宇塚サロンで皆さんが作ってくださった笹飾りです。短冊や飾りの工夫された様子から、サロンの皆さんが楽しんで制作されたことが伝わってきました。



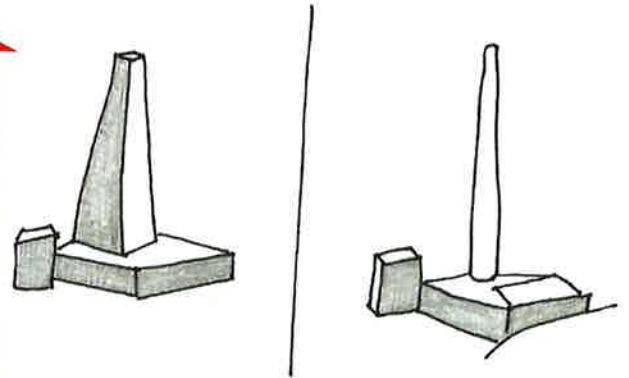
8月21日、ほんごうまちご近所ささえ合い会議が開かれ、「本郷町の高齢者生活お助け帳」の改訂について話し合いました。
高齢者の皆さんにとって、より使いやすく役に立つ内容になるよう、地域の方々と一緒にアイデアを出し合いました。
ご自宅で生活される方の暮らしを応援できるような手帳として、気軽にお使いいただけるよう改善を進めていければと思います。



瀬越、夫婦淵あたりの川は、岩や蛇行からなる複雑な水の流れが魅力的だと、いつも思います。
川遊びの醍醐味が凝縮された、ワクワクする推しスポットです。
7月下旬、大雨の直後で増水した早瀬で、激流を遡って泳ぎ、楽しんでいる大人の方を見かけました。
声をかけると、子供の頃からこの川で遊んでいたそうです。
凧や瀬、地形を身体感覚で熟知しておられるのでしょう。
子供時代を蘇らせたような、いきいきとした表情が印象的でした。



どう見えますか？



「これは何かわかりますか？」と、古い写真に写る建物を地域の人々に見せて尋ねてみました。それはおそらく昭和30年代の夫婦淵で撮影された、珍しい雪景色の写真です。丘の斜面に建っているその建物は、三角柱の煙突のようにも見えます。昔の写真を見てもらうと、皆さんとても興味を示していただけます。「これが〇〇さんの家で、」「こっちは茅葺屋根がまだあったな」など、風景全体から色々な事柄を謎解きのように読み解き、とても楽しげに話してくださいました。結果的に、この写真に写る建物が何であったかは謎のままでしたが、この話題を通して、地域の皆さんが隔たりなく盛り上がっていただけたように感じました。誰もがフラットな立場で、喜びを生む小さな種を探し続けられたらと思います。



これはカラスかな？



約 50 ~ 70 cm

頭と耳は小さい

前足の爪が長く鋭い

短くて太い足

シッポは短い

アナグマ

地域の方とお話していると、普段の暮らしの中で気になることとして、家や畑に現れる獣の話がよく出てきます。サロンでは見かけた野生動物をスマホで検索し、写真をみくらべながら、「意外とかわいいねえ」と笑いあいます。

害獣＝駆除するべきという考えから距離を置いて、観察者目線で興味深く眺めていたりします。

とはいえ、大切に育てた畑の作物を食べられたりしたら、負の感情も湧き出てくるのは当然です。

まずは、野生動物の習性を知り、自然と人間がお互い負荷の低い対策で、穏やかに棲み分けができないものかと、おもいます。

近ごろ、渋谷にはアナグマが住みついているそうです。

中学校で定期的に参加させていただいている英会話教室が、急にキャンセルになったその日は、たまたま7年生の家庭科で、5大栄養素についてのプレゼンするなどの授業がありました。地域の方3名と一緒に参観し、地域の方も英語で「好きなこと」をシェアしました。地域の方からは「学習内容やタブレット端末の使用もそうだけど、話し合ったり、プレゼンしたり授業風景が昔とは全く違う」との感想をうかがえました。本郷小中学校では地域の方との繋がりを築く活動に取り組まれています。

生徒さん用
熱中症対策
の冷蔵庫



発行：岩国市本郷支所

tel:(0827)75-2311

集落支援員 吉平 晴美